浜松医科大学開学四十周年記念誌

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 開学四十周年記念誌編集専門委員会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2800

8. 監　査　室

監査業務はこれまで会計課監査係においておこなわれていたが，内部統制の仕組みの整備，法人としての自律的運営の確保及び法人化後の財務，労務，安全管理，病院経営，共済組合等の内部監査体制の充実を図るため，平成18年7月に事務局から独立した学長直属の組織として設置された。

主に科学研究費補助金等の外部資金や契約関係文書について監査をおこなうとともに，法令遵守について定期的に点検・検証をおこなっている。監査結果については学長並びに関係部署へ報告しており，特に外部資金の監査については教授会で結果を報告し，適正使用について注意喚起を促している。

また，監事・会計監査人と連携しながら監査を実施するとともに，問題点の抽出，改善のための意見交換会を定期的におこない，業務の質的向上を目指している。

現在，研究費の不正使用を防止するための実効性のあるモニタリング体制の整備に取り組んでいる。

（高橋裕志）

9. 広　報　室

平成22年8月より総務課に専門員（広報担当）1名を配置し，副学長（情報・広報担当）のもとで広報活動を行ってきた。

組織体制の充実と情報の集約化を図り，本学の教育・研究・診療及び社会貢献に関する活動状況を地域社会に発信し，説明責任を果たすため，平成24年8月に学長直属の組織として，専任の室長1名，兼任の室員3名による「広報室」が設置された。

広報室の主な業務は，広報誌の企画・立案・作成，ホームページの管理・企画・編集，報道機関への情報提供及び連絡調整などである。

広報誌については，平成23年度に「NEWSLETTER」のデザインを一新，カラー刷りとし，掲載内容の見直しを行ったところ，充実した誌面となり，学内外に好評を得ている。

平成22年4月にリニューアルしたホームページは，各部署で編集・更新が可能なコンテンツマネージメントシステムを導入したことにより，情報提供の迅速化及び充実が図られた。また，ホームページ運営部会で，見やすいホームページを目指した検討を継続的に行った結果，年々アクセス数が増加傾向にある。

本学の活動状況を社会に発信する手段として，ホームページの「トピックス」に各種行事，研究成果などを掲載するとともに，報道機関への各種情報提供も積極的に行っている。

本学の特色や個性をアピールする広報戦略の一環として，平成24年に「バックボード」を作成し，現在，大学行事等さまざまな場面で活躍中である。

平成25年度には初めての試みとして，職員の広報活動への意識向上を目的とした「広報セミナー」，本学に対する理解・関心を深めるための「報道機関との懇談会」を開催した。

また，開学40周年に向けて，大学シンボルマークの募集を企画し，全国から応募のあった291作品について選考を行った結果，最優秀作品1点を決定した。シンボルマークの公表及び表彰は，開学40周年記念式典で行われることとなっている。

平成26年4月には，学長特別補佐（広報・社会貢献担当）が新たに任命され，さらなる広報体制の充実を図ることとしている。

（大谷理恵）